

INTERVIEW

専門分野を活かして働く職員【建築編】



専門知識を活かして働く中で、特に印象に残っている業務はありますか？

新築の器具置場が完成した時の達成感は印象に残っています。消防局のみの力で建物を建てることは不可能で、市内他部局の方々と業者等多くの関係者と何度も協議を重ねていきます。調整が難航することもあります。最終的に地域の安全安心に長く貢献し続ける施設が完成した時には、それまでの努力が報われる感覚を覚えました。



現在の仕事内容

所属：消防局総務部
消防団課
消防団係
消防団事業担当

器具置場の設計、工事、地質・測量から撤去、環境整備に関すること

消防団の器具置場は消防団員の活動拠点であり、資機材や車両を保管しています。活動の基盤となる重要な施設であり、地域防災力の強化に欠かせません。

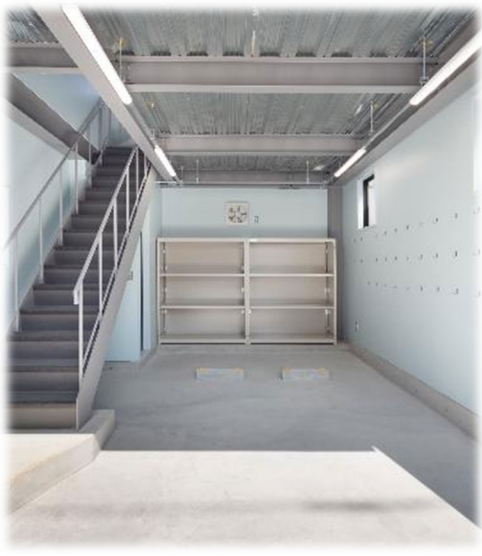
横浜市には約420棟の器具置場があり、毎年約10数棟のペースで更新整備をしています。



専門知識や技術を活かして、どのような貢献ができていると感じますか？

まず、建物構造や消防設備等の知識は、警防・予防問わず広く様々な場所を活かすことができます。

現職場でいえば、消防施設という特殊で専門的な施設に求められる要素を、わかりやすく関係者にお伝えし、形にしていくことで市民の安全安心に貢献できていると感じます。実際に建物を設計・工事するのは業者の方々であり、我々は発注者の域をでませんが、プロの関係者と同じ目線で協議を重ねる必要があります。そこでは建築に関する知識が大いに役立っています。



専門知識を活かして働くうえで、求められる資質やスキルは何だと思えますか？

コミュニケーション能力が一番大切だと考えます。

共に業務を進める関係者の中には消防のことを知らない方も多くいます。その方々に我々の希望する施設の内容をわかりやすく伝えることが重要です。

ほかにも、実際に施設を使用する方々からの要望を聞き取る力や、社会情勢等を感じ取る力も重要であり、そこでもコミュニケーション能力が問われると感じています。

プライベートとの両立について

2人の子供とゆっくり過ごしている、職場の人とゴルフや飲みに行く（私は飲めませんが）



日々の学びやスキルアップのために取り組んでいることはありますか？

市の研修（土木・建築）に参加して専門用語等の理解に努めている。

職場の雰囲気やチームの特徴について教えてください

一番の若手ですが、意見を言いやすく気兼ねなく相談できます。本部庁舎は設備面でも充実していてとても良い環境で勤務ができる上に、休暇やフレックスを活用して育児と両立しながら柔軟な働き方ができています。

今後の目標や挑戦したいことは何ですか？

消防施設の整備、更新に携わっていききたい。
今まで働いてきて、消防の施設が消防活動に影響することをとっても実感した。施設を充実させ、市民の安心・安全につなげていきたい。



MESSAGE

専門性を活かしたキャリアを目指す方へのメッセージ



消防業務のすべてで
建築の知識は必要と
されるので、絶対に
無駄にはならない。

全ての業務が市民の
安心・安全につな
がっていることを実
感できるため、建築
とは違ったここでし
か得られないやりが
いがある。